

一般質問

標識の管理状況は



東近江市民クラブ

和田喜藏

問 当市の道路標識の点検と管理状況は。

また、標識設置数とその安全性は。

答 主要幹線道路における道路標識等の健全性については、25・26年度に実施した道路ストック総点検で、近接目視による総点検を実施しました。

道路標識は、国・県・公安委員会・市・その他民間などが設置しており、全体の状況は把握できません。

市が設置している標識については、警戒標識が767基、案内標識が39

基あり、安全性については道路ストック総点検の結果から、74基の補修が必要であると確認しました。

この点検結果や自治会等の情報をもとに、緊急性の高い標識から順次、交換・補修等を実施しています。

問 市の人口ビジョンで示された人口減少に対する今後の具体的な取り組みは。

答 当市の人口は、合併時の11万6800人をピークに減少に転じ、日

本の総人口も22年から減少局面に入っています。人口減少は、労働人口、消費減退等、地域活力に大きな影響を与えるだけでなく、地域のまちづくりや暮らしの維持を困難にする要因となります。全国的な状況や、当市の実情を分析し、定住促進と人口流出の抑制、若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現、地域の資源を生かした活性化を、今後の目指すべき方向性として具体的に取組むよう、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。

施策を総合的に進めていくために、①働き住み続けたい活力ある東近江市の創生②行きたくなくなる住みたくなくなる魅力ある東近江市の創生③若い世代が希望をかなえる夢のある東近江市の創生④誰もが安心して暮らせる豊かな東近江市の創生という4つの基本目標を掲げています。



これは何の標識？

タテ・ヨコ・ナナメの連携を



東近江市民クラブ

西崎 彰

問 協働のまちづくりと市の責務について、各部署がどのように協働を推進し、横断的に取り組んできたのか。

答 様々な分野にまたがる行政課題や、各部署の事務分掌の狭間にある課題について、関係部署の職員でプロジェクトチームを設置したり、連絡会議を開催して検討、対応しています。

例えば、生活困窮者の就労支援施策については、まちづくり担当部署が、福祉部局や労政部局とともにプロジェクトチームを設置し、庁内横断的な協働事業として取り組んできました。

今年度設置した森と水政策課では、林業部局、防災部局、観光部局、環境部局と連携して、森林資源の活用・保全施策や「鈴鹿十座」の取り組みを

実施しています。

問 現在の空家対策は。

答 この対策は、総務課を中心に、関係する12課で空家等対策担当者会議を設置し、様々な部局が連携・協力して総合的・横断的な取り組みをしています。

問 市が主体となつて関係者を集め、市民に向けて災害に対する説明会を開催しては。

答 災害に対する市民への説明会については、風水害・土砂災害・地震などの災害に対する各自治会が抱える問題にもそれぞれ違いがあると認識しています。

そのため、県と連携して防災出前講座を実施しています。

問 能登川地区の幼稚園、小学校、中学校の大便器の数と洋式の割合は。

また、今後のトイレの洋式化の方針は。



改修が必要な小学校のトイレ

答 幼稚園および認定こども園は、44基、65・9%、小学校は、162基、37・0%、中学校は、66基、15%です。

今後の洋式化は、施設整備計画による大規模改修事業に合わせて、すべての学校・園において概ね75%を目途に進めます。